

# 白山自然保護センター中宮展示館 中期経営目標

(実施期間 平成30年度～令和4年度)

平成30年3月 策定

## 1 施設の設置目的

白山地域の自然・生活文化、自然環境保全に対する理解を深めてもらうことを目的として設置しています。

## 2 施設の果たすべき役割

展示や映像を通じて、白山の豊かな自然、白山麓の人々の暮らしや自然との関わり方などについて理解を深めてもらうこと、また、実際に周辺の観察路を歩くことで、それぞれの季節でしか味わえない生の自然を体験し、自然のすばらしさやその保護に対する意識を向上してもらうことを役割としています。

## 3 事業内容

### (1) 展示活動

- ・白山の豊かな自然や、そこに住む人々の文化・暮らしについて理解を深めていただけるよう、展示室には白山のブナ林などを疑似体験できるコーナー、昔の白山麓にあった分校の教室を再現したコーナーなどを設け、映像ホールではハイビジョンテレビで白山の自然について紹介しています。そのほか白山の動植物・地質を中心に収集した収蔵品の展示を行っています。(開館期間：5月1日～11月上旬)

### (2) 普及活動

- ・四季折々の白山の自然をありのまま感じてもらい、併せて自然保護意識を高めるために、いしかわ自然学校「山のまなび舎」事業における自然観察会等のプログラムの開催や、白山自然ガイドボランティアによる周辺観察路のガイドウォークを実施しています。

## 4 現状と課題

### (1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・展示室や展示機器のリニューアルを行った平成12年度には4万人を超える入館者数を記録しましたが、近年、入館者数は減少しており、平成29年度の入館者数は29,004人となっています。

- ・ガイドウォークを実施してもらった白山自然ガイドボランティアを平成11年度から4年に1回募集・養成しており、平成29年度には73人が登録されています。また、平成12年度から開始しているいしかわ自然学校「山の学び舎」事業は、平成28年度の参加者数が10,292人となるなど好評を博しています。
- ・これまでも施設の利用促進を図るため、各種広報活動に努めてきたところですが、さらなる利用者拡大を図るため、県内の小中学校に対する広報活動や近隣観光施設との連携を強化するなどし、一層のPRに努める必要があります。

## (2) 施設運営の効率化について

- ・これまでも展示機器の保守点検費用等の節減に努めてきたところであり、今後とも管理費用の節減に努めていきます。
- ・これまでもガイドボランティアの協力のもとで、自然観察会やガイドウォーク等の自然体験プログラムを実施しているところであり、今後とも、民間活力を活かしながらプログラムの量や質の維持向上を図り、効率的な実施に努めていきます。

## 5 中期経営目標

### (1) 中期経営目標

- |                                                   |
|---------------------------------------------------|
| ① 利用者数を5年間で5%増加させます。                              |
| ② 施設利用者及びプログラム参加者からのアンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。 |
| ③ 利用者1人あたりの一般財源投入額を5年間で5%削減します。                   |

### (2) 測定指標と目標値

| 測定指標                            | 基準値<br>(H27～29平均) | 中間目標値<br>(H32) | 最終目標値<br>(R4) |
|---------------------------------|-------------------|----------------|---------------|
| ① 利用者数                          | 30,849人           | 31,500人        | 32,400人       |
| ② 施設利用者及びプログラム参加者からのアンケートによる満足度 | 97%               | 95%以上          | 95%以上         |
| ③ 利用者1人あたりの一般財源投入額              | 54円               | 53円            | 51円           |

## 6 目標達成に向けた具体的な取組内容

### (1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取組み

#### ①施設の利用促進に向けた取組み

- ・四季を通して白山麓の自然などを体験する「楽しもう！白山麓 d a y s」を開催し、さらなる利用者拡大を図ります。
- ・ホームページだけでなく、平成29年度に開設したツイッターも活用し、中宮展示館周辺の自然情報やイベント案内などの情報を発信し、中宮展示館の魅力発信に努めます。
- ・学校関係者や児童などの利用者拡大を図るため、白山ろく少年自然の家との連携を強化するとともに、教育委員会等に働きかけ、県内の小中学校に対する広報活動に取り組みます。
- ・近隣観光施設との相乗効果を発揮するため、白山市や中宮温泉、一里野温泉、白山白川郷ホワイトロード（石川県林業公社）などとの連携を強化し、積極的に誘客に努めます。

#### ②サービス（満足度）向上に向けた取組み

- ・館内での展示活動については、今後も引き続き入館者からアンケートを実施し、その意見を踏まえ、接遇マナーの向上や施設利用の利便性向上に取り組みます。
- ・自然観察会やガイドウォークについては、その魅力をより高め、参加者の増加を図るため、アンケートにより参加者のニーズを把握し、内容の充実に努めます。また、引き続き、ガイドボランティア研修会などを通じて、職員やガイドボランティアの資質の向上に努めます。
- ・環境省が設置する Wi-Fi フリースペースを活用し、来館者の利便性向上を図ります。

### (2) 施設運営の効率化に向けた取組み

- ・展示用電球のLED化を順次進めるなど、管理費用の節減に努めます。
- ・民間団体等との連携を進め、自然観察会及びガイドウォークの実施回数や質の維持向上、効率的な実施に努めます。

(参考資料)

## 1 施設の利用状況

(1) 利用指標(利用人数、稼働率などの状況) (単位:人)

| 項目   | H27     | H28     | H29     |
|------|---------|---------|---------|
| 利用者数 | 31,258人 | 32,285人 | 29,004人 |

(2) 利用者アンケート指標(利用者サービス、施設の維持管理) (単位:%)

| 項目   | H27 | H28 | H29 |
|------|-----|-----|-----|
| 良い   | 61  | 53  | 64  |
| 概ね良い | 35  | 43  | 35  |
| 計    | 96  | 96  | 99  |
| やや悪い | 4   | 4   | 0   |
| 悪い   | 0   | 0   | 1   |

## 2 収支の状況 (単位:千円)

|    |            | H27決算 | H28決算 | H29決算 |
|----|------------|-------|-------|-------|
| 歳出 | 施設管理費      | 1,444 | 1,352 | 1,473 |
|    | 山の学び舎事業費   | 110   | 164   | 151   |
|    | ガイドウォーク事業費 | 181   | 75    | 20    |
|    | 計          | 1,735 | 1,591 | 1,644 |
| 歳入 | 一般財源       | 1,735 | 1,591 | 1,644 |

※施設管理費のうち職員費は白山自然保護センター全体で管理しているため計上できない。

## 3 利用者1人あたりの一般財源投入額

|                      | H27     | H28     | H29     |
|----------------------|---------|---------|---------|
| 一般財源投入額 ①            | 1,735千円 | 1,591千円 | 1,644千円 |
| 利用者数 ②               | 31,258人 | 32,285人 | 29,004人 |
| 利用者1人あたりの一般財源投入額 ①÷② | 56円     | 49円     | 57円     |